

## 令和3年度事業報告

### 【概況】

鶏卵生産者を取り巻く情勢は、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により業務加工用の需要に影響が生じたこと、令和2年度以降連続して高病原性鳥インフルエンザが発生したこと、国際的な穀物需要の増加、ウクライナ情勢や円安の進行等に伴う穀物価格の上昇で飼料価格の高騰に歯止めがかからない様相を呈している等から、生産者の経営環境は極めて厳しい状況である。

令和3年度も鶏卵生産者経営安定対策事業、家畜防疫互助基金支援事業や鳥インフルエンザ経営再建保険による経営支援を通して生産者に寄り添った。

令和3年度は、令和2年度からの第4期鶏卵生産者経営安定対策事業の中期にあたる。高病原性鳥インフルエンザによる殺処分の影響により年度当初から卵価は上伸し、その後9月以降卵価は弱含みで推移した。

その結果価格差補填事業や成鶏更新・空舎延長事業の発動は限定的だったが、令和4年1月早々補填事業と成鶏更新・空舎延長事業が発動された。

令和3年度は、鳥インフルエンザ経営再建保険について災害補償の追加や補償規模の拡大など損害保険会社と検討を進め、生産者により有益となる新制度を創設しこれをスタートさせた。

また紹介団体会員に推進費を支給するなど道府県養鶏協会と連携し、37件の新規会員を得た。

令和3年度は、引き続き香港向けの鶏卵輸出は好調で、コロナ禍の影響でリモート形式で現地企画会社とタイアップし積極的なプロモーション活動を実施した。

国際獣疫事務局(OIE)による採卵鶏のAWコードは令和3年5月末に開催のOIE総会で採択されなかったことから、現行の「AWの考え方に対応した採卵鶏の飼養管理指針」を踏まえ、アニマルウェルフェア特別委員会を開催しAWに対する協会のスタンスを確認するとともに、生産者と学識経験者の意見交換を行い、委託事業の方向性の検討を進めた。

また消費者の理解が得られるよう「魅力あふれる安全安心の国産鶏卵」というコンセプトで国産鶏卵の優位性を対外発信した。

### I 公益目的支出計画に係る実施事業

#### 1. 鶏卵需給動向等の情報提供事業

鶏卵の需給及び価格の安定に資するため、道府県養鶏協会及び地域協議会

が行う推進会議、研究大会等の開催の支援等を行った。本協会ホームページ等を活用して、生産者及び消費者等への行政をはじめとする鶏卵の需給・価格動向等に関する情報の提供に努めた。また、本協会会員等に対して「日鶏協ニュース」、「日鶏協回覧板」及び「日鶏協速報」により各種情報を提供した。

## 2. 国産鶏卵に関する普及啓発事業

鶏卵に関する正確な知識の普及・啓発を推進するため、関係団体等と連携し、ウェブサイト等を活用した情報提供を行った。

1 1月5日の「いいたまごの日イベント」開催により、卵料理への理解と興味の向上、正しい知識の周知に努めた。

また、消費者等の理解を更に高めるため、冊子「魅力あふれる安全安心の国産鶏卵」の作成に取り組んだ。

## II 協会の独自事業

### 1. 鶏卵消費拡大推進事業

鶏卵生産者経営安定対策事業への加入生産者の拠出金により、鶏卵の消費拡大に取り組むことが事業実施主体の義務として規定されていることに基づき、道府県養鶏協会により各地域で開催する講習会・イベント等を通じ、鶏卵の消費拡大に取り組み需給改善を図ることを目的に、対象事業に対し補助を実施した。

### 2. 鳥インフルエンザ経営再建保険事業

近年の自然災害等の増加により、災害による鶏の被害が多くなってきていることから、鶏卵生産者に対し実施したアンケート結果や、令和2年度の多発状況を踏まえ、令和3年度は、災害補償の追加や補償規模の拡大など損害保険会社と検討を進め、生産者により有効となる新制度を創設した。

令和4年2月開始分から①総支払限度額の引き上げ（10億円⇒12億円）、②経営再建を前提としない迅速な保険金の支払い、③自然災害での損害保険の新設を実現した。

一方、総支払限度額の引き上げ、世界的な感染症（鳥・ヒト）発生の高頻化、同リスクに対する保険会社の慎重な引受スタンス、本制度における保険事故の近時の大量発生を踏まえ、保険料を1.7倍に引き上げた。

## III 国の制度に基づく事業

### 1. 飼料米生産・利用促進事業

食料自給率の維持向上のため飼料米等の生産拡大を推進する国の方針に基づき、飼料米に関する国の直接支払交付金の算定基礎とするため適用されている農産物検査について、飼料米を利活用した鶏卵の生産拡大に資することを目的に平成26年より登録検査機関として活動を開始し、引き続き全国の農産物検査員による飼料米検査について、活動の支援等を行った。

## IV 補助事業

### 1. 鶏卵生産者経営安定対策事業（農林水産省補助事業）

令和2年度から開始された第4期事業は、毎月の標準取引価格が補填基準価格を下回った場合は、経営規模に拘わらずその差額の9割を補填（補填基準価格と安定基準価格の差額を上限とする。）することとし、成鶏更新・空舎延長事業については奨励金単価の引き上げにより鶏卵の需給改善のための支援の充実が図られた。

①空舎期間60～90日未満：210円/羽（270円/羽→310円/羽）

②空舎期間90～120日未満（新設）：420円/羽（620円/羽）

③食鳥処理場への奨励金：23円/羽→47円/羽

※（ ）内は10万羽未満飼養生産者

さらにこれらの予算は基金化され、鶏卵生産者経営安定対策基金（以下「基金」という。）が造成され、その第2年次目となる令和3年度は5,169百万円が基金造成費として国庫補助された。また需要に応じた鶏卵の生産・供給を推進するため、鶏卵の需給見通しを作成するなど、事業の仕組みの大幅な見直しが行われ、契約者は697人、契約数量は184万トンとなった。

鶏卵価格差補填事業にあつては、令和3年度は、高病原性鳥インフルエンザの影響により減少した生産量が回復に向かう一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うまん延防止等重点措置の適用による需要の落ち込み等により、標準取引価格が令和4年1月は145.54円、2月は172.05円となり、補填基準価格（181円）を下回ったことから、2ヶ月連続での発動となった。しかしながら、成鶏更新・空舎延長事業の発動による抑制効果等により2月から価格は上昇傾向に転じた。価格差補填の累積単価は、27.855円/kg（前年度は96.211円/kg）、補填総額は41億円（前年度は152億円）程度となり、このうち基金からの支出による補填額は5億円（前年度の補助金による補填額は18億円）程度となった。

成鶏更新・空舎延長事業については、令和3年度は令和4年1月5日に発動し、1月24日に終了となった。

処理羽数は約416万羽で、奨励金総額は16.3億円となった。なお、これら奨励金は全て年度内に支払うことができた。

事業参加者の空舎・再導入状況を確認するための現地調査については、多くの場合で年度内での再導入が実施されていないことから、次年度に実施することとした。

鶏卵の需給見通しについて、検討委員会（2回開催）にて消費・供給動向につき検討・協議し、また本協会加入生産者へのアンケート調査結果に伴う情報等を踏まえ、「鶏卵の需給見通し」を作成し、2回（9月、3月）にわたり加入生産者等に情報提供を行った。併せて本協会ホームページにも公表した。

### 2. 家畜防疫互助基金支援事業（農畜産業振興機構補助事業）

令和3年度は、第8期（令和3年度～令和5年度）の開始年として、参加の

呼びかけを積極的に実施した。前回参加者のみならず、前回参加しなかった当協会会員にもパンフレット等入会書類一式を送付するとともに、(一社)日本食鳥協会の協力を得て、肉用鶏生産者への呼びかけを行った。

また、令和3年度は、令和2年度冬季の高病原性鳥インフルエンザの発生分45農場の互助金交付手続きを行い、うち36農場について互助金交付額認定委員会に諮り、26農場の交付を完了した。

### 3. 畜産物輸出支援関連

令和3年度分野・テーマ別の海外販路開拓等への支援強化事業鶏卵輸出促進関連業務(日本貿易振興機構:ジェトロ事業)で香港・マカオ及びシンガポールでプロモーション活動を実施。具体的には香港・マカオの在住者を対象としたYouTube広告を作成、またバス広告(車体広告・シートバック広告)を実施した。さらにマカオにおいては現地レストランとコラボレーションし、日本産鶏卵を使用した限定メニューを展開、マカオのフードブロガーやインフルエンサーに限定メニューを試食してもらい、SNSに投稿してもらった。

シンガポールでは日本産鶏卵の英語版啓蒙サイトを開設し、その後シンガポールのレストラン3店舗とタイアップし特別メニューを販売した。

### 4. 家きん経営災害緊急支援対策事業(農畜産業振興機構補助事業)

令和3年度は、非常用電源の導入については、事業費が約11,441万円、うち補助金が約5,151万円であった。非常用発電機のリース料の軽減については、事業費約1,218万円、補助金約554万円であった。

また、令和2年度に追加された令和2年度冬期の大雪ならびに令和3年度福島県沖を震源とする地震での被害については、事業費約7,945万円、補助金約3,611万円であった。

## V 各種協議会の事務局活動

### 1. 鶏卵公正取引協議会

当協議会は、消費者庁及び公正取引委員会により認定された「鶏卵の表示に関する公正競争規約」に基づき運営されている。

本協会は当協議会から事務を委託されている。

協議会事務局として、通常総会、理事会および会員証紙審査委員会の運営にあたった。

また、公正マークの一般消費者に対する認知・理解促進を図るため2回に分けて公正マーク付きたまごプレゼントキャンペーンを実施し、約3万人の応募を得た。令和3年度については、クイズの問題を、賞味期限、抗生物質についてとし、消費者の現在の認識調査を行った。

また、会員及び会員外の事業者等からの表示に関する相談、助言等の対応を行うとともに、表示に関して留意する点などを日鶏協ニュース及び協議会HPに掲載すること等により情報提供を行い、適正な鶏卵表示の推進に努めた。

## 2. 中央鶏卵規格取引協議会

当協議会は、昭和46年農林水産省事務次官通達「鶏卵規格取引要綱」により、鶏卵の規格取引を推進するために設置されたものである。

本協会は当協議会から事務を委託されている。

今年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、前年に引き続き「鶏卵規格取引研修会」及び「割卵検査」の開催ができなかった。

研修会中止に伴い、「卵重計量責任者」資格取得を希望される対象者に対し、通信研修会を実施し、12名に通信研修修了証書の発行を行った。

## 3. 畜産物輸出促進協議会・鶏卵輸出部会

畜産物輸出コンソーシアム推進対策事業として、鶏肉・鶏卵のサルモネラ菌低減への対応及びサルモネラ菌検査等支援事業を実施、公募の結果3つのコンソーシアムの参加があり、各コンソーシアムが防鼠対策や鶏舎殺菌洗浄作業等サルモネラ菌低減に向けての取組みを行い、結果サルモネラ陽性率0%を維持できた。

また米国本土への空輸の際米国連邦法が定める温度確保の試験・実証、保冷養生条件の検証を目的として、畜産物の流通・品質保持に係る試験・実証等支援事業を実施。1つのコンソーシアムの参加があり、令和3年10月から1月の期間に米国向けに3回の空輸を行い、3回とも米国連邦法が定める7.2℃以下が担保された。

## VI 他団体活動への協力

国際養鶏養豚総合展（IPPS、(公社)中央畜産会が事務局）、(公社)畜産技術協会、(一社)日本食鳥協会、(一社)日本養豚協会等が実施する事業等に関して委員会等に委員等として参加し、事業運営に協力した。

## VII その他の課題

### 1. 会員の増加及び地方組織との連携

鶏卵生産者及び関係団体等を会員とする全国組織として、令和3年度も引き続き会員の増強を図ることができた。

本協会事業推進の中核である道府県養鶏協会及び地域協議会と情報共有し、鳥インフルエンザ問題対策委員会に発生地域の道府県養鶏協会の参加を求め地域の事情を織り込んだ発生の顛末の報告を受け、日本養鶏協会が鶏糞堆肥に関する耕種農家との需給のマッチングを実施する際に必要な協力を求め、会員加入の増強への協力を得るなど様々な形で地方組織との連携を進めた。

### 2. 国際競争力の強化

我が国における鶏卵生産の低コスト化の障害となっている資材の内外価格差・法制度上の問題等諸課題への対応を進めることは、養鶏産業の基盤を維持し96%の国内自給率を維持するため重要である。

低コスト化の対応として、農林水産省が主催する新たな畜舎建築基準等のあり方に関する検討会に積極的に参加し、令和2年5月に「中間取りまとめ」と

して取り纏められ、令和3年3月に「畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律案」として国会に提出され、令和3年5月19日の公布を経て令和4年4月1日に施行された。

### 3. 鳥インフルエンザ対策

令和3年11月10日に秋田県を皮切りに発生した高病原性鳥インフルエンザは、全国各地で24例30農場において発生した（令和4年5月時点）。

リスク管理規程に基づき、11月9日に会長を本部長、鳥インフルエンザ問題対策委員長を副本部長とする高病原性鳥インフルエンザ対策本部を立ち上げ、土日祝日を含む24時間対応体制を構築した。

本協会会員に対して、事案の発生の都度、「日鶏協速報」や「日鶏協ニュース」等を通じ各種情報を提供するとともに、会員生産者等の飼養衛生管理基準の遵守状況と焼埋却の現状に関する調査結果を日鶏協ニュースで広く周知した。

### 4. アニマルウェルフェアに配慮した飼養管理

英国及び北ヨーロッパでは、エンリッチドケージ飼育が平飼い飼育に移行しつつあり、米国においてもケージフリーが進んでいる。

欧米のこのような動きは、我が国の鶏卵産業にも及ぶことから、情報の収集に努めた。

一方で国際獣疫事務局（OIE）による採卵鶏のAWコードは令和3年5月末のOIE総会で採択されなかったことから、現行の「AWの考え方に対応した採卵鶏の飼養管理指針」を踏まえ、アニマルウェルフェア特別委員会を開催しAWに対する協会のスタンスを確認するとともに、生産者と学識経験者の意見交換を行い、委託事業の方向性の検討を進めた。

今後はOIEの動向も含めた情報収集に努め、行政、消費者、流通関係者との対話を進めたい。

### 5. 業界要望の集約と積極的な要請

長期的な視野に立って安定した鶏卵生産を図るためには、生産者自らの努力もさることながら、鶏卵生産の特性を考慮した政策・施策の実現を図ることが重要である。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大による低卵価に加えて飼料価格の高騰について、生産者団体として国に対し積極的に鶏卵産業の実情を訴え、国・行政の理解と支援を求めた。

特に飼料価格の高騰に対しては、先行き不透明な状況下で飼料価格の高止まりが強く懸念されることから、他の生産者団体と団結して飼料価格高騰への対策と支援を政治・行政に訴えかけた。

また、令和5年度から新たに始まる第5期の鶏卵生産者経営安定対策事業の制度設計の見直しについて、農林水産省との対話を行うことで生産者と国・行政との間の理解を深め、業界内の議論を集約し国・行政に要望した。

## 【協会の活動】

### 1. 会員の異動

#### (1) 会費会員

	期 初	加入等	脱 会	期 末
イ（個人、法人）	636	37	23	650
ロ（道府県協会）	44	0	0	44
ハ（全国団体）	3	0	0	3
ニ（その他の養鶏関係団体）	1	0	0	1
ホ（その他の団体）	3	0	0	3
計	687	37	23	701

#### (2) 入会預り金会員

	期 初	加入等	脱 会	期 末
イ（経済連・農業協同組合等）	22	0	0	22
ロ（都道府県）	47	0	0	47
ハ（(独) 農畜産業振興機構）	1	0	0	1
ニ（その他の団体）	3	0	0	3
計	73	0	0	73

(注) 入会預り金会員の名簿及び入会預り金額は別表のとおりである。

### 2. 総会

#### 定時総会

令和3年7月19日 東京都千代田区大手町1-7-2 大手町サンケイ  
プラザ 3階において第72回定時総会を開催し、次の議案を可決した。

- (1) 令和2年度事業報告（報告事項）
- (2) 令和3年度事業計画及び収支予算（報告事項）
- (3) 令和2年度計画書類等に関する件  
（公益目的支出計画実施報告を含む。）
- (4) 令和3年度会費の賦課及び徴収方法に関する件
- (5) 理事20名・監事3名の選任に関する件

### 3. 理事会

協会事業推進のため、次により理事会を開催した。

#### 第1回

令和3年5月26日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

- (1) 報告事項
  - ① 委員会報告（鶏卵生産者経営安定対策事業委員会、審議委員会）

- ② 令和3年度鶏卵生産者経営安定対策事業の契約状況について
  - ③ 令和2年度の高病原性鳥インフルエンザにかかる総括
  - ④ 「魅力あふれる安全安心の国産鶏卵」にかかる取組みについて
  - ⑤ インパックラベル封入による消費者への情報提供活動報告について
  - ⑥ O I E 総会「採卵鶏AWコード」の議決について
  - ⑦ 飼料流通の合理化に関する検討会報告ほかについて
  - ⑧ 過年度事業報告書記載内容の一部修正について
- (2) 協議事項
- ① 令和2年度事業報告及び計算書類等について
  - ② 令和2年度公益目的支出計画実施報告書等の提出について
  - ③ 令和3年度会費の賦課及び徴収方法について
  - ④ 理事候補者・監事候補者について
  - ⑤ 第72回定時総会の開催延期について
  - ⑥ 新規会員紹介にかかる推進費の支払について
  - ⑦ 令和3年鳥インフルエンザ経営再建保険の内払いについて
  - ⑧ 成鶏更新・空舎延長事業におけるひな再導入の特例申請について
  - ⑨ 家畜防疫互助基金支援事業業務方法書の改正について

## 第2回

令和3年6月21日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

### (1) 報告事項

- ① 令和2年度監事監査報告について

### (2) 協議事項

- ① 令和2年度計算書類等一部修正について
- ② 団体会員理事候補者の変更について
- ③ 第72回定時総会の招集の決定について

## 第3回

令和3年7月19日 東京都 大手町サンケイプラザ 3階「312」

### 協議事項

- ① 役付き役員の互選について
- ② 新規会員の承認について
- ③ その他

## 第4回

令和3年9月16日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

### (1) 報告事項

- ① 第1回鶏卵需給見通し検討委員会報告
- ② 令和4年度自民党予算要請について
- ③ 令和3年度理事会、各種委員会の開催スケジュールについて



- ④ 「魅力あふれる安全安心の国産鶏卵」冊子の進捗と今後の方針について
  - ⑤ 飼育システムの差による採卵鶏のアウトプットに関する委託調査事業について
  - ⑥ 家畜防疫互助基金の第7期の認定状況並びに第8期の加入促進状況について
  - ⑦ 鳥インフルエンザ経営再建保険についての制度見直しの状況について
  - ⑧ 農林水産物・食品の輸出拡大に係る品目団体の法人化について
- (2) 協議事項
- ① 令和3年度専門委員会等委員の選任について
  - ② 鶏卵生産者経営安定対策事業における農業協同組合等による生産者負担金の代行納付について
  - ③ 新規会員の承認について
- (3) その他

## 第5回

令和3年10月20日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

- (1) 報告事項
- ① 第1回鳥インフルエンザ問題対策委員会報告
  - ② 令和4年鶏卵生産者経営安定対策事業の概要並びに年次契約締結等スケジュールについて
  - ③ 鶏糞とその処理及び輸出等の状況について
  - ④ 令和3年度各種委員会の開催スケジュールについて(その2)
  - ⑤ 令和3年度会費納入状況について
  - ⑥ 令和3年度代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告
- (2) 協議事項
- ① 令和4年度鳥インフルエンザ経営再建保険の見直し及び募集について
  - ② 鳥インフルエンザ経営再建保険令和3年度後期の保険金支払について
  - ③ 鶏卵生産者経営安定対策事業業務方法書等の一部改正について
  - ④ 新規会員の承認について
- (3) その他

## 第6回

令和3年12月13日 書面理事会

- ① 高病原性鳥インフルエンザが発生した加入生産者に係る負担金の返還及び支払準備金の取り崩しについて
- ② 新規会員の承認について

## 第7回

令和3年12月23日 書面理事会

- ① 新規会員の承認について（2回目）

## 第8回

令和4年1月20日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

### （1）報告事項

- ① 委員会報告（アニマルウェルフェア特別委員会、国産鶏卵に関する普及啓発問題検討委員会）
- ② 鳥インフルエンザ経営再建保険令和3年度後期の保険金支払について
- ③ 令和4年度鳥インフルエンザ経営再建保険及び第8期家畜防疫互助基金支援事業の募集状況について
- ④ 採卵鶏飼養羽数が10万羽未満であることの確認調査結果について
- ⑤ 令和3年度成鶏更新・空舎延長事業実施状況について
- ⑥ 令和4年度鶏卵生産者経営安定対策事業基準価格（補填、安定）について
- ⑦ 「魅力あふれる安全安心の国産鶏卵」冊子について
- ⑧ 鶏糞に係るアンケート調査結果について

### （2）協議事項

- ① 令和4年度鶏卵生産者経営安定対策事業への応募について
- ② 新規会員の承認について
- ③ 高病原性鳥インフルエンザが発生した加入生産者に係る負担金の返還及び支払準備金の取り崩しについて
- ④ 令和3年度鶏卵販売実績報告等の確認調査に係る結果と対応等について

## 第9回

令和4年2月25日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

### （1）報告事項

- ① 委員会報告（鳥インフルエンザ問題対策委員会、国産鶏卵に関する普及啓発問題検討委員会、鶏卵生産者経営安定対策事業委員会）
- ② 令和3年度成鶏更新・空舎延長事業参加実施状況について
- ③ 鳥インフルエンザ発生下における家畜防疫互助基金支援事業等の状況について
- ④ 令和3年度鶏卵輸出事業の状況について
- ⑤ 第5期鶏卵生産者経営安定対策事業の制度設計について
- ⑥ 令和3年度会員の異動と会費の収納状況について
- ⑦ 令和4年度予算案の編成について

(2) 協議事項

- ① 令和4年度鶏卵生産者経営安定対策事業積立金、協力金、手数料及び拠出金等の単価について（入会預り金特定資産の取崩しを含む）
- ② 鶏卵生産者経営安定対策基金等の運用について
- ③ 令和4年度入会預り金特定資産・業務管理特定資産の再運用について
- ④ 令和4年度役員賠償責任保険の加入について

第10回

令和4年3月30日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

(1) 報告事項

- ① 委員会報告（鶏卵生産者経営安定対策事業委員会、審議委員会、鶏卵需給見通し検討委員会）
- ② 第7期家畜防疫互助基金支援事業互助金交付の状況について
- ③ 令和3年度鶏卵生産者経営安定対策事業における補填金・奨励金交付状況について
- ④ 令和4年度鶏卵生産者経営安定対策事業契約状況（速報）について
- ⑤ 「たまご知識普及会議」によるメディア告知の取り組みご紹介
- ⑥ 令和3年度代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告（後期）

(2) 協議事項

- ① 令和4年度事業計画書及び収支予算書について
- ② 令和4年度1Kg当たり別途納付金の額について
- ③ 第5期鶏卵生産者経営安定対策事業の制度設計について
- ④ 登録商標「TAMAGO J a p a n E G G」使用許諾要領の一部改定について

(3) その他

4. 正副会長会議

緊急かつ重要な課題に対処するため、次により正副会長会議を開催した。

第1回

令和3年5月17日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

- (1) 第1回理事会議題について
- (2) その他

第2回

令和3年7月12日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

- (1) 第72回定時総会の運営について
- (2) その他

第3回

令和3年8月25日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

- (1) 第4回理事会議題について
- (2) その他

第4回

令和3年10月18日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

- (1) 第5回理事会議題について
- (2) その他

第5回

令和4年1月17日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

- (1) 第8回理事会議題について
- (2) その他

第6回

令和4年1月26日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

- (1) 第5期鶏卵生産者経営安定対策事業の見直しに向けた検討について
- (2) その他

第7回

令和4年2月22日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

- (1) 第9回理事会議題について
- (2) その他

第8回

令和4年3月15日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

- (1) 第5期鶏卵生産者経営安定対策事業制度設計について
- (2) その他

第9回

令和4年3月24日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

- (1) 第10回理事会議題について
- (2) その他

**5. 監事監査等**

令和3年5月21日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

令和2年度事業報告及び計算書類等についての監査

**6. 審議委員会**

鶏卵生産者経営安定対策事業に関する調査審議のため、次により審議委員会を開催した。

第1回

令和3年5月17日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

報告事項

- ① 令和2年度成鶏更新・空舎延長事業実施状況について
- ② 令和2年度鶏卵価格差補填交付状況について
- ③ 令和3年度鶏卵生産者経営安定対策事業の手数料の収支状況及び

特定資産の推移について

- ④ 令和3年度鶏卵生産者経営安定対策事業の契約状況について
- ⑤ 令和3年度1Kg当たり別途納付金の額について

#### 第2回

令和3年10月20日 書面審議

##### (1) 報告事項

- ① 鶏卵生産者経営安定対策事業における鶏卵の需給見通し並びに鶏卵生産等のアンケート実施について
- ② 令和4年度鶏卵生産者経営安定対策事業の概要並びにスケジュールについて

##### (2) 協議事項

- ① 鶏卵生産者経営安定対策事業業務方法書等の一部改正について

#### 第3回

令和4年2月25日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

##### (1) 報告事項

- ① 令和3年度業務管理特定資産の推移について
- ② 第5期鶏卵生産者経営安定対策事業の制度設計について

##### (2) 協議事項

- ① 令和4年度鶏卵生産者経営安定対策事業積立金、協力金、手数料及び拠出金等の単価について（入会預り金特定資産の取崩しを含む）
- ② 令和4年度業務管理特定資産の取崩しについて
- ③ 令和4年度入会預り金特定資産・業務管理特定資産の再運用について
- ④ 鶏卵生産者経営安定対策基金等の運用について
- ⑤ その他

#### 第4回

令和4年3月25日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

##### (1) 報告事項

- ① 令和3年度鶏卵生産者経営安定対策事業における補填金・奨励金交付状況について

##### (2) 協議事項

- ① 令和4年度鶏卵生産者経営安定対策事業の収支予算について
- ② 第5期鶏卵生産者経営安定対策事業の制度設計について
- ③ その他

## 7. 専門委員会

### (1) 鶏卵生産者経営安定対策事業委員会

#### 第1回

令和3年5月17日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

##### 報告事項

- 1) 令和2年度成鶏更新・空舎延長事業実施状況について

- 2) 令和2年度鶏卵価格差補填交付状況について
- 3) 令和3年度鶏卵生産者経営安定対策事業の手数料の収支状況について
- 4) 令和3年度鶏卵生産者経営安定対策事業の契約状況について
- 5) 令和3年度1Kg当たり別途納付金の額について

協議事項

- 1) 成鶏更新・空舎延長事業におけるひな再導入の特例申請について

第2回

令和4年1月20日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

報告事項

- 1) 令和3年度成鶏更新・空舎延長事業実施状況について
- 2) 令和4年度鶏卵生産者経営安定対策事業基準価格（補填、安定）について

協議事項

- 1) 令和4年度鶏卵生産者経営安定対策事業への公募について
- 2) 令和3年度鶏卵販売実績報告等の確認調査に係る結果と対応等について

第3回

令和4年2月9日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

報告事項

- 1) 令和3年度成鶏更新・空舎延長事業実施状況について
- 2) 令和5年度第5期鶏卵生産者経営安定対策事業の制度設計について
- 3) 令和4年度鶏卵生産者経営安定対策事業の積立金、協力金、手数料及び拠出金等の単価について
- 4) 鶏卵生産者経営安定対策基金等の運用について

第4回

令和4年2月25日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

報告事項

- 1) 第5期鶏卵生産者経営安定対策事業の制度設計について

協議事項

- 1) 令和4年度鶏卵生産者経営安定対策事業積立金、協力金、手数料及び拠出金等の単価について（入会預り金特定資産の取崩しを含む）
- 2) 鶏卵生産者経営安定対策基金等の運用について
- 3) その他

第5回

令和4年3月15日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

協議事項

- 1) 第5期鶏卵生産者経営安定対策事業の制度設計について
- 2) その他

## 第6回

令和4年3月25日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

### 報告事項

- 1) 令和3年度第2回鶏卵需給見通し検討委員会報告
- 2) 令和3年度鶏卵生産者経営安定対策事業における補填金・奨励金交付状況について

### 協議事項

- 1) 令和4年度鶏卵生産者経営安定対策事業の収支予算について
- 2) 第5期鶏卵生産者経営安定対策事業の制度設計について
- 3) その他

## (2) 鳥インフルエンザ問題対策委員会

### 第1回

令和3年10月14日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

### 協議事項

- 1) 令和4年度鳥インフルエンザ経営再建保険の見直し及び募集について
- 2) 鳥インフルエンザ経営再建保険令和3年度後期の保険金支払について
- 3) 鳥インフルエンザ発生時の対応態勢について
- 4) 家畜伝染予防法の一部改正について
- 5) その他

### 第2回

令和4年1月17日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

### 協議事項

- 1) 令和3年度鳥インフルエンザ発生要因の傾向について（関係各養鶏協会より）
- 2) 鳥インフルエンザ経営再建保険令和3年度後期の保険金支払について
- 3) 令和4年度鳥インフルエンザ経営再建保険及び第8期家畜防疫互助基金支援事業の募集状況について

## (3) アニマルウェルフェア特別委員会

### 第1回

令和3年11月16日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

### 協議事項

- 1) AWに関する最近の動きについて—OIE等海外の状況も含めて
- 2) 採卵養鶏分野におけるAW対応実態調査
- 3) 日本型AWの今後の方向性について
- 4) AW有識者会議の構成員について
- 5) その他

## 8. 各種事業

### (1) 鶏卵需給動向等の情報提供事業

① 例年は、本会事業推進の中核である道府県養鶏協会及び地域協議会による総会、研究大会、展示会への出展等が行われ、これらに対して支援を行っているが、令和3年度については令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大のため、活動については当初予定事業を変更したものや、事業中止となった事例が多かった。

5地域協議会のうち事業を実施できたのは、中部地域協議会と九州地域協議会で、その活動内容は以下の通りである。

[開催日]	[実施内容]
中部地域協議会 令和3年 6月23日	中部地域協議会会議（名古屋市・7名参加） （経営安定対策事業・空舎延長事業の勉強会） （地域協議会事業報告・令和3年度事業計画） コロナのため研修会は実施できず。
九州地域協議会 令和3年 4月27日～令和4年1月19日	情報提供（鶏卵を取り巻く情勢他） （のべ9か所）
令和3年10月12日～12月 8日	消費者との鶏卵に関する勉強会（情報・意見交換会）消費者144名参加

44道府県養鶏協会では実施した協会が28協会、未実施が16協会であった。

道府県協会の活動内容としては、コロナ禍を踏まえ、資料・パンフレット類を作成し配布する例やテレビ・ラジオ・新聞広告等を実施する例もあった。

また、京都府養鶏協会では、会長がKBS京都（ラジオ）に出演し、養鶏業界について視聴者に語りかけた事例もあった。

② 生産者、消費者等への鶏卵の需給・価格動向等に関する情報の提供鶏卵の需給、価格動向等の養鶏関連情報を19回FAX等により送付するとともに、「日鶏協ニュース」（12回）、「日鶏協回覧板」（4回）、「日鶏協速報」では高病原性鳥インフルエンザの発生と注意喚起等（15回）により各種情報をFAX等により送付（送付先は会員及びその他の希望者で約700ヶ所）した。また、本協会ホームページの鶏卵の需給・価格等に関する統計を毎月、更新等を行った。

### (2) 国産鶏卵に関する普及啓発事業

① 鶏卵に関する普及・啓発イベントの実施

11月5日（金）に東京・新宿区のJA全農たまご株式会社キッチンスタジオにおいて、「いいたまごの日」イベントを実施した。新型コロナウイルス



ウイルス感染症拡大防止の観点により、前年度に引き続き参加者が一堂に会さず各地を映像により結ぶリモート開催形式にて実施し、6組の高校生による「たまごニコニコ料理甲子園」、料理研究者による実演・講演の2部形式により実施した。

② ウェブサイトを通じた養鶏情報の提供

本協会ホームページを通じ、「鳥インフルエンザ、抗生物質」に関する正しい情報を提供する消費者向け普及啓発資料のデータを提供している。また、各種イベントの開催状況を紹介するビデオを掲載した。さらに、鶏卵のコレステロールに対する誤解解消、賞味期限に関する普及啓発記事、卵料理レシピ等を広報した。

③ 鶏卵等に関する相談の受付

鶏卵の品質・取扱い方法・表示内容等について、ウェブサイト・電話を通じた相談を通年受付けており、100件を超える相談を受けている。また、本協会ホームページに「にわとりとたまごの質問コーナー」を設けており、「よくある質問」を掲載している。

④ 鶏卵についての正しい認識を涵養する資料の配布

鶏卵とコレステロールに関する誤解解消、鶏卵を利用するメニューの紹介等を内容とするリーフレットを、全国各地のイベント会場等で配布して活用を促した。

⑤ 業界団体等により連携した消費者への情報提供活動

鶏卵関係企業・団体と協力し、消費者へ鶏卵の正しい知識を普及する取り組みを引き続き実施した。鶏卵に関する正しい情報を掲載するWebの運営や、広告によらずマスコミ等を誘引することによる一般向け広報活動などを実施した。

⑥ 冊子「魅力あふれる安全安心の国産鶏卵」の作成

鶏卵業界に対する誤った報道に対し、「対決」ではなくポジティブな情報を拡散することにより消費者の理解を更に高め、多くの鶏卵に関する理解者を獲得する事を実現するため、消費者を中心とした層への鶏卵の正しい知識を提供する冊子を作成した。

⑦ 国産鶏卵に関する普及啓発問題検討委員会の開催

委員11名により構成される本委員会を、11月及び1月に馬事畜産会館において開催し、いいたまごの日イベント、業界団体等により連携した情報提供の取り組み、冊子「魅力あふれる安全安心の国産鶏卵」の作成に関する検討など、鶏卵に関する普及啓発活動の企画・立案・実施について協議した。なお、現下の情勢に鑑み、委員はリモート参加を基本とする形式にて実施した。

**(3) 鶏卵生産者経営安定対策事業（農林水産省補助事業）**

令和3年度鶏卵生産者経営安定対策事業（予算額52億円）の事業実施主体の公募が行われ、本会が引続き応募し事業実施主体となった。

① 鶏卵価格差補填事業

ア) 令和3年度は、高病原性鳥インフルエンザの影響により減少した生産量が回復に向かう一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うまん延防止等重点措置の適用による需要の落ち込み等により、標準取引価格が令和4年1月は145.54円、2月は172.05円となり、補填基準価格(181円)を下回ったことから、2ヶ月連続での発動となった。令和3年度の月別標準取引価格及び補填価格は、表1のとおり。

イ) また、積立金の造成額、補填金交付額及び鶏卵生産者経営安定対策基金の状況は、表2のとおり。

表1 月別標準取引価格及び補填価格

(単位：円/kg)

年 月	標準取引価格	補填価格
令和3年 4月	237.97	0.000
令和3年 5月	252.27	0.000
令和3年 6月	255.03	0.000
令和3年 7月	242.09	0.000
令和3年 8月	217.67	0.000
令和3年 9月	215.92	0.000
令和3年 10月	212.93	0.000
令和3年 11月	205.93	0.000
令和3年 12月	207.19	0.000
令和4年 1月	145.54	19.800
令和4年 2月	172.05	8.055
令和4年 3月	190.77	0.000

(注1) 補填基準価格：181円/kg 安定基準価格：159円/kg

表2 積立金の造成額・当期の増減額及び補填金交付額

鶏卵価格差補填事業

(単位：円)

区 分	積立金	基 金	補填金交付額
① 前年度繰越額	61,700,681		
② 積立金造成額	10,118,724,585		
③ 補填金交付額	3,573,771,101	510,534,800	4,084,305,901
④ 返還額(廃業等)	6,292,770		
⑤ 受取利息	8,738		
⑥ 次年度繰越額 (=①+②-③-④+⑤)	6,600,370,133		

(注) ③補填金交付額には、令和2年度補填金の追加交付額(455,626円)を含む。

鶏卵生産者経営安定対策基金の状況

(単位：円)

区 分	基 金
⑦ 期首基金額	8,939,483
⑧ 国からの交付額	5,168,539,000
⑨ 年度内支出額(補填金交付)	510,534,800
⑩ 年度内支出額(奨励金交付等)	2,086,859,219
⑪ 受取利息	3,332
⑫ 期末基金額 (=⑦+⑧-⑨-⑩+⑪)	2,580,087,796

(注) 奨励金交付等には事業推進事務費(834,101円)を含む。

② 成鶏更新・空舎延長事業

ア) 成鶏更新・空舎延長事業について、令和2年度第2回発動分(令和3年1月5日発動)のうち令和3年度4月以降導入分の支払いを行った。支払いの状況は、以下のとおり。

区 分	計
対象件数(件)	125
処理加工羽数(羽)	2,524,253
奨励金交付額(生産者)(円)	1,030,064,376
うち協力金	257,516,094
うち国庫	772,548,282
奨励金交付額(処理加工場)(円)	118,639,604
うち協力金	29,659,901
うち国庫	88,979,703
奨励金交付額合計(円)	1,148,703,980
うち協力金	287,175,995
うち国庫	861,527,985

なお、令和2年度第2回発動分の令和2年度支払い分実施状況は、第72回定時総会議案20・21ページに掲載のとおり。

イ) また、令和3年度の発動については、令和4年1月5日発動、令和4年1月24日終了となった。なお、これらの奨励金については、年度内に支払いは完了した。奨励金の交付状況は、表3のとおり。

表3 奨励金の交付状況

(単位：戸、羽、円)

区 分	10万羽以上生産者	10万羽未満生産者	計
参加者数	63	99	162
処理加工羽数	3,143,213	1,012,560	4,155,773
空舎期間 60- 89 日	1,737,082	470,346	2,207,428
空舎期間 90-119 日	1,406,131	542,214	1,948,345
奨励金交付額	955,362,140	481,979,872	1,437,342,012
(うち国庫)	716,521,605	361,484,904	1,078,006,509
空舎期間 60- 89 日	364,787,120	145,807,192	510,594,312
空舎期間 90-119 日	590,575,020	336,172,680	926,747,700
処理加工場数	—	—	51
奨励金交付額	147,730,732	47,590,100	195,320,832
(うち国庫)	110,798,049	35,692,575	146,490,624
空舎期間 60- 89 日	81,642,688	22,106,164	103,748,852
空舎期間 90-119 日	66,088,044	25,483,936	91,571,980
奨励金交付総額	1,103,092,872	529,569,972	1,632,662,844
(うち国庫)	827,319,654	397,177,479	1,224,497,133

ウ) 協力金の造成額、奨励金交付額等は、表4のとおり。

表4 協力金の造成額・当期の増減額及び奨励金交付額

(単位：円)

区 分	協力金	基 金	奨励金交付額
① 前年度繰越額	828,608		
② 協力金造成額	919,810,200		
③ 奨励金交付額	695,341,706	2,086,025,118	2,781,366,824
④ 返還額 (廃業等)	572,070		
⑤ 次年度繰越額 (=①+②-③-④)	224,725,032		

### ③鶏卵需給見通しの作成

検討委員会を令和3年7月21日及び令和4年2月16日に開催し、また、加入生産者に対するアンケート調査を令和3年10～12月に実施し、これらを踏まえ「鶏卵の需給見通し」を作成し、令和3年9月及び令和4年3月に加入生産者等に提供するとともに本協会ホームページに公表した。

国庫補助金（鶏卵需給見通しの作成）

（単位：円）

区 分	国庫補助金
年度内支出額	1,288,410

（４）家畜防疫互助基金支援事業（農畜産業振興機構補助事業）

本事業は、3ヵ年度（令和3年度～令和5年度）を事業実施期間とし、令和3年度は、第8期の開始年度として実施した。

加えて、第7期中の令和2年度冬季シーズンに発生した高病原性鳥インフルエンザ発生生産者への互助金交付を行った。

① 家畜防疫互助事業

ア) 令和3年度は、第8期（令和3年度～令和5年度）の開始年として、参加の呼びかけを積極的に実施した。前回参加者のみならず、前回参加しなかった当協会会員にもパンフレット等入会書類一式を送付するとともに、日本食鳥協会の協力を得て、肉用鶏生産者への呼びかけを行った。

イ) 上記の結果、令和3年度中の加入者は、1,655件で、生産者積立金総額は、15億8571万円であった。

ウ) また、令和3年度は、令和2年度冬季の高病原性鳥インフルエンザの発生分45農場の互助金交付手続きを行い、うち36農場について互助金交付額認定委員会に諮り、26農場の交付を完了した。

家畜防疫互助基金の生産者積立金管理状況（令和4年3月31日現在）

（単位：円）

区 分	生産者積立金額	互助金交付額 (積立金分)*	残 額
第7期基金（当初）	1,415,194,286	1,036,182,713	379,011,573
第7期基金（追加）	588,687,754	0	588,687,754
第8期基金	1,585,705,612	0	1,585,705,612
合計	3,589,587,652	1,036,182,713	2,553,404,939

\*：互助金交付額(積立金分)は、令和4年3月31日現在で支払済み及び支払額の確定したもの。なお、互助金は（独）農畜産業振興機構からの互助金交付額と同額の補助金と併せて交付される。

## (5) 畜産物輸出支援関連

①令和3年度分野・テーマ別の海外販路開拓等への支援強化事業鶏卵輸出促進関連業務

ア) 分野・テーマ別のPR活動検討委員会

令和3年度については新型コロナウイルス感染症の影響で予定していた海外施設等の状況調査や対面での会議開催が困難だった事等からPR活動委員会は開催しなかった。

イ) 日本畜産物の品質情報の多言語発信

香港・マカオにおいて親子丼とオムライスの2パターンでの動画をアレンジしYouTube広告を実施。それぞれ約2週間の掲載結果は、香港におけるYouTube広告の平均視聴率35.0%に対し、今回は43.5%と高い数値となり、対象視聴者（香港・マカオの居住者）の関心度の高さがうかがえた。

ウ) ロゴマークの登録・維持管理

令和3年度は、8社よりロゴマークの使用申請があり、会長決裁を経て使用を許諾した。

②セミナー開催

シンガポールで予定していた消費者向けのセミナー開催は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施せず、外食産業向けセミナー、レストランフェアとしてシンガポールの3店舗とタイアップし特別メニューを販売した。また、マカオにおいても現地レストランとコラボレーションし、日本産鶏卵使用の限定メニューを展開、販売した。

## (6) 飼料米生産・利用促進事業

平成26年に農産物検査法に基づく登録検査機関として本協会が登録され、33名の農産物検査員を擁し検査活動を実施している。

在籍農産物検査員数

(人)

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
26	35	40	37	37	36	33	33

令和3年度は、15県220名の稲作生産者より検査請求があり、416件、約6,315トンにのぼる飼料米の検査が実施された（稲作生産者から受ける検査手数料：1円/kg、農産物検査員への支払手数料：0.7円/kg）。

## (7) 鶏卵消費拡大推進事業

鶏卵の消費拡大を目的とし、道府県養鶏協会により各地域で開催された講習会・イベント等に対する支援を行った。

31道府県養鶏協会 イベント、フェアへの参加及び講習会等  
約56回(約222,000名)

【トピックス】

青森・三重・宮崎県養鶏協会

：テレビ・ラジオへの出演やCM提供

岩手・群馬・長野・三重・香川・愛媛・福岡県養鶏協会

：情報誌・新聞広告等掲載を実施

岩手・静岡県養鶏協会：病院・介護老人ホーム訪問を実施

鳥取県養鶏協会：大学出前授業

(8) 鳥インフルエンザ経営再建保険事業

鳥インフルエンザ経営再建保険については、令和4年2月開始分から、①総支払限度額の引き上げ（10億円⇒12億円）、②経営再建を前提としない迅速な保険金の支払い、③自然災害での損害保険の新設の改善を行った。

令和3年度の保険加入件実態は下表のとおりであり、保険料単価の増により、総払込保険料は前年比大幅増となった。

	加入 件数	総羽数	総保険料 (円)	保険金 支払件数	支払保険金 (円)
令和3年度	522	104,947,003	206,285,640	8	347,928,500
令和4年度	534	105,827,400	*340,973,743	0	0
増 減	+12	+880,397	+134,688,103	▲8	▲347,928,500

\*自然災害補償及びオプション補償の保険料（24,264,662円）を除く。

注：表側の令和3年度は令和3年2月1日から令和4年1月31日、令和4年度は令和4年2月1日から令和5年1月31日までの期間である

令和3年度冬季のA I 保険加入者の発生状況

	件数	支払対象羽数	保険金額
令和3年度	6件	506千羽	2.2億円
令和4年度(R4.2月～3月)	0件	—	—

(9) 家さん経営災害緊急支援対策事業（農畜産業振興機構補助事業）

令和3年度非常用電源の導入実績

	生産者集団	経営体	台数	事業費	補助金
導 入	6	17	22	11,441万円	5,151万円
リ ース	1	2	3	1,218万円	554万円
合 計	7	19	25	12,659万円	5,705万円

また、令和2年度に追加された令和2年度冬期の大雪ならびに令和3年福島

県沖を震源とする地震での被害については、1 集団 5 経営体において、事業費約 7,945 万円、補助金約 3,611 万円であった。

## (10) 関連団体事務受託事業

### ①鶏卵公正取引協議会

本協会は同協議会の団体会員として加入するとともに、同協議会事務局として、総会、理事会、会員証紙審査委員会の運営にあたった。

#### 【通常総会】

第12回 令和3年 6月23日 東京都 馬事畜産会館 会議室

#### 【理事会】

第1回 令和3年 5月18日 (書面開催)

第2回 令和3年 11月16日 (集合開催)

第3回 令和4年 2月15日 (リモート開催)

第4回 令和4年 3月 7日 (書面開催)

#### 【会員証紙審査委員会】

第1回 令和3年 4月 6日

#### 【公正マーク付きたまごプレゼントキャンペーン】

第1回 令和3年 10月18日～令和3年11月17日

第2回 令和3年 12月20日～令和4年 1月19日

### ②中央鶏卵規格取引協議会

鶏卵の規格取引を円滑に推進するため、鶏卵の生産及び流通関係団体(6 団体)で構成されている中央鶏卵規格取引協議会の事務局を本協会が受託している。

今年度については、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「鶏卵規格取引研修会」及び「割卵検査」の開催ができなかった。

研修会中止に伴い、「卵重計量責任者」資格取得を希望される対象者に対し、通信研修会を実施し、12名に通信研修修了証を発行した。(令和2年度は8名に発行)

## 9. その他

### (1) 褒章の授与

道府県養鶏協会が行う鶏卵・鶏肉の品質改善共励会、畜産共進会、品評会、料理コンクール等で優秀な成績を修めた者に対して本会会長賞を授与した。



## (2) 関連団体等への協力

### ①本協会役職員の、関連団体・団体等の開催する審議会等への派遣

(公社) 中央畜産会	国際養鶏養豚総合展 (I P P S) 幹事
(公社) 畜産技術協会	初生雛鑑別師養成・鑑別技術安定化及び新技術情報収集推進委員
	A Wに配慮した家畜輸送等指針作成事業推進委員・指針普及事業推進委員
	採卵鶏A W飼養管理指針検討委員会委員
	全日本初生雛雌雄鑑別選手権大会審査員
(一社) 日本食鳥協会	食鳥処理加工業技能評価委員
(一社) 日本養豚協会	米活用畜産物等全国展開事業に係る推進検討会

### ②各種研究会への役職員の派遣

本来、本協会役職員を各県養鶏協会等が開催する研修会等に講師として派遣し、鶏卵、養鶏生産等に関する正しい知識の普及に努めるが、令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で研修会等が中止となった。

### ③各種イベントにおける後援

各県養鶏協会等が開催するイベント等に後援した。

## (3) 常勤役職員の異動

(令和4年3月31日現在)

	期 初	任 用	退 任	期 末
理 事	1	0	0	1
職 員	12	4	3	14
計	13	4	3	15